



Indonesia Weekly

2019年2月12日



(対象期間：2019/2/4～2019/2/8)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2019年2月8日)



【株式市場】

インドネシア株式市場は、5日の春節の休暇を挟んで、出来高が減少する中、利益確定の売りに押されて上値の重い展開となりました。6日に発表された2018年第4四半期の実質国内総生産（GDP）成長率は前年同期比+5.18%、2018年通期では前年比+5.17%となり、政府による公式目標は下回りましたが、2013年以来の大幅な伸びとなりました。セクター別ではインフラ・公益・運輸などが上昇した一方で、基礎産業・化学などは下落しました。

2019/2/1	2019/2/8	変化率
6,538.64	6,509.20	-0.45%

*2月5日は祝日のため休場。

【債券市場】 インドネシア自国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年2月8日)



【債券市場】

直近行われたイスラム国債の入札が国内勢を中心に好調だったことや、2018年通期のGDPが2013年来の伸びとなったことが好感され、インドネシア10年国債利回りは週の半ばにかけて低下（価格は上昇）しました。後半にかけては、国債入札を前にしたポジション整理の売りが見られ利回りは上昇しました。本日、国債の定例入札が予定されています。

2019/2/1	2019/2/8	変化幅
7.893	7.845	-0.048

*2月5日は祝日のため休場。

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年2月8日)



【為替市場】

2018年のGDPの発表を受けて、一時対米ドルで14,000ルピアを割り込むレベルまでルピアは買われましたが、トランプ大統領の「関税引上げ期限前に習主席と会談する予定はない」とのコメントから関税引上げ期限前の合意への期待が後退し、ルピアは週末にかけて上値の重い展開となりました。一方、対円ではルピアは上昇しました。

2019/2/1	2019/2/8	変化率
0.7801	0.7849	+0.62%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用するグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・フィナンシャルとは関係がありません。